

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	市民やすらぎ課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2273
	基本事業	墓地、斎場の安定的な維持、運営		事業実施主体	市
	事務事業	墓園・墓地整備事業		事業期間	平成28年度～令和3年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民の墓所需要に応じて、新たな墓所を供給するため、高松市墓地整備計画（平成29年度～33年度）に基づき、市営墓地の無縁墳墓の移転改葬、新規墓所整備及び墓地の環境整備を行う。平和公園墓園・六ツ目公園墓園等、新規区画の造成が可能な市営墓地の整備についても計画的に推進する。		
3年度概要	市営墓地の適正な環境整備に努めるとともに、墓所の返還があった場合は、新たに貸出できるよう整備する。また、平和公園墓園旧管理事務所の解体工事、楠川墓地ブロック塀撤去工事等のほか、前年度からの繰越事業である平和公園墓園内のフェンス建替工事等を実施する。 なお、平成31年度においては、墓所需要を満たしているため、新規区画の整備は実施しない。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民の墓所需要に応じた墓所の新規整備と、適正な墓地環境の整備

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
新規墓所整備数（累計）	区画	1,208	1,208	1,208	1,208	1,208

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2	
成果指標	新規墓所使用許可数（累計）	区画	目標値	1,130	1,152	1,175	1,275	1,355	
			実績値	1,004	1,075	1,167			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 姥ヶ池東墓地と平和公園墓園の新規区画造成工事が平成28年度竣工し、貸出を開始し、30年度における墓所の使用許可数は92区画である。 (目標達成度)					(達成度) 99.3% 34点			
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2	
			目標値						
			実績値						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	99,758	30,356	93,850	164,273
（事業費）	[円]	84,841	15,941	79,482	149,905
（職員人件費）	[円]	14,917	14,415	14,368	14,368

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成30年度の墓所貸出数は、92区画であり、平成28年度に策定した墓地整備計画の墓所需要数を大幅に下回っているため、新規区画の開発については、墓地需要の分析を適正に行い、すすめていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成30年度から整備した返還墓所を貸出すことで、現在の墓所需要を満たしているため、今後においては、社会情勢の変化を考慮したうえで、墓地需要の分析を適正に行い、墓地整備計画を検討していく。

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	市民やすらぎ課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-822-1917
	基本事業	墓地、斎場の安定的な維持、運営		事業実施主体	市
	事務事業	市民葬儀事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民葬儀は、葬儀に要する経済的負担の軽減を図り、広く市民が利用することのできる葬儀制度として実施している。この制度では、市が葬儀の種類及び料金を定めて市民葬儀取扱指定業者に取り扱わせ、霊柩車運行料の助成や火葬料及び市斎場の式場使用料（一定時間）の免除を行っている。				
	3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・斎場等運営懇談会の開催 ・霊柩車運行料の補助、火葬料及び市斎場の式場使用料（一定時間）の免除 			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	葬儀を行う市民
意図（どのような状態にしたいか）	経済的負担の少ない簡素な葬儀を普及させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
市民葬儀利用件数	件	564	501	546	548	600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	市民葬儀利用率	%	目標値	13.74	13.17	13.3	12.56	13.3
			実績値	13.24	12.01	12.68		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） HPやパンフレット配布による市民葬儀事業のPRに努めたが、目標値である13.3%より低い12.7%の達成度であった。		(目標達成度)					(達成度) 95.3%
				33点				
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	16,372	14,796	15,834	16,050
（事業費）	[円]	12,446	11,002	12,053	12,269
（職員人件費）	[円]	3,926	3,794	3,781	3,781

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

30年度は市民葬儀利用件数が前年に比べ45件増加した。今後においても引き続き低価格で葬儀内容も充実している市民葬儀のメリットをパンフレット等でPRするとともに、葬儀を取り巻く社会情勢の変化を踏まえて、制度の在り方を検討する。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民葬儀制度について積極的に周知するとともに、必要に応じて市民（遺族）や葬祭業者を対象にアンケート調査を行うなど社会情勢の変化等の把握に努め、制度の在り方を検討する。